



平成20年町成人式

責任感を胸に新たな門出



はたちの誓いを述べる木村翔太郎さん



町民憲章を読み上げる
小成史峰さん

1月13日、平成20年の町成人式が町中央公民館大ホールで開かれ、新成人172人が参加しました。主催者を代表して沼崎喜一町長が「新成人の皆さん、おめでとうございます。社会に出て自らの可能性に挑戦し、これからの日本を背負って立つ気構えで頑張ってください」とあいさつ。その後、小成史峰さん（山田）が力強く町民憲章を読み上げました。

昆暉雄議長の祝辞に続き、新成人を代表して木村翔太郎さん



記念講演を行った
菅原彰彦さん

（豊間根）が、「夢に向かい自身を磨き、多くのことを学んでいきたい。支えてくれた皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、思いやりの心を持ち、責任ある社会人としてこれからを一生懸命に生きていきます」と「私たちの誓い」を述べました。

記念講演では盛岡地方検察庁統括捜査官の菅原彰彦さんが「皆さんも裁判員に」と題し講演。21年度から施行される裁判員制度について説明し、「裁判員制度により平和な暮らし、安全で住みよい町のため、皆さんにもその一翼を担っていただくこととなります。これからいろいろな経験を、すてきな大人になってください」と新成人に激励の言葉を贈りました。

その後、城内スタジオ（八幡町）から寄贈されたデジタルカメラや使い捨てカメラが当たるプレゼント抽選会が行われ、会場は和気あいあいとした雰囲気になっていました。

スナッパ ショット

20歳になりました

本紙の赤ちゃん紹介コーナー「1歳になりました」は、昭和63年8月にスタートし、これまで3,600人の元気な子供たちを掲載してきました。本年成人式を迎えたのは、同コーナーが始まった63年度に掲載された皆さん。ここでは、新成人3人を当時の写真と合わせてご紹介します。



会場に掲載当時の広報紙を展示しました



あけみ
柏谷明美さん
（宮城県仙台市・大沢出身）



成人式という節目を迎え、わたしも常識ある大人になりたいと思います。山田町には昔のまま、いつまでも変わらずにいてほしいですね。遠くにいても古里山田を大切にしていきたいです。



きょうこ
木村響子さん
（茨城県つくば市・豊間根出身）

現在、大学で中学・高校の教員を目指して頑張っています。なんだかあっという間に二十歳を迎え、成人になったという気がしません。成人式を無事に迎えた感謝の気持ちを家族、特に両親に伝えたいです。



ゆうじ
佐藤祐二さん
（山田）

まだ成人になったという実感がわいてきませんが、無事に成人式を迎えることができ、両親に感謝しています。現在はとびの仕事をしていますが、これから技術を磨いて早く一人前になりたいです。

